

LIT200 アメリカの短編小説

2年 3,4クォーター

担当教員 Nicolangelo Becce, Ph. D.

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 金曜日・2時限

授業概要

アメリカ文学における短編小説は極めて重要な、豊かな、そして柔軟な文学形態である。そして、多くのアメリカ人作家が好んで短編小説という媒体にアメリカの歴史に影響を与えてきた変化を描いてきた。そこで、短編小説を通じてアメリカ人作家が描いてきた多様なアメリカ文化を紹介することが本講義の目的である。アメリカ人の世代が交代する度に、短編小説はそうした文化的変化を作品の形で具現化してきた。

このコースでは、19世紀と20世紀の短編小説を講読し、議論していく。特にアメリカの歴史や文化に対する短編小説の影響と遺産、そして形式の特性、レトリックの特徴に注目する。

到達目標

- 1) 代表的な作家を取り上げ、アメリカ短編小説の時系に沿った歴史的発展を分析する。
- 2) 文学的、文化的テキストが自己、他者、共同体という観念にどのような変質を与えてきたか体験する。
- 3) 適切な理論と方法論を用いて文学作品を解釈すること（様々な解釈の許容や批判的思考の発展を含む）に習熟する。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

読み物および研究材料はクラス内で配付する。

授業の方法

このコースはセミナー形式で行う。学生は課題のリーディングに基づいて、自分自身の意見を述べて授業クラス・ディスカッションに寄与すること。また、授業は学生のクラス・ディスカッションから始め、担当教員は、課題リーディングや学生の質問・意見に基づいて、簡単なインフォーマルな講義を行う。

成績評価

講読した資料（1点あるいは複数）についてレスポンスペーパーを作成する。このペーパーにアカデミックレベルは要求されないが、論点が押さえられ、新しい考え（纏まっていなくともよい）が述べられていなくてはならない。また、クラス全体に最低1つは論題を提供することが求められる。学期末には、最終のペーパーを作成し、アメリカ短編小説の全体像、そして授業で扱ったテキストを分析する。学生は全員、作成したペーパーを最後の授業で発表する。

成績

30%	授業参加とディスカッションへの寄与
30%	週ごとのレスポンスペーパー
30%	最終論文
10%	最終論文のプレゼンテーション

授業スケジュール

第1週：イントロダクション（講義概要）

第2週：アメリカ短編小説の起源

アメリカ短編小説の初期の作品、及びこの文学形式の興隆に関するクラス・ディスカッションを行う。

第3週：アメリカン・ルネッサンスと短編小説

アメリカのロマン主義、及び超絶主義（Transcendentalism）の時代におけるアメリカ短編小説の発展に関するクラス・ディスカッションを行う。

第4週：短編小説と社会変動

南北戦争後にアメリカに影響を及ぼした重大な変化が起こったのか、及びアメリカの短編小説がこれらの激的変化をどう描き出したかについてのクラス・ディスカッションを行う。

第5週：ジャズエイジ、ハーレムルネッサンス、そして短編小説

時代への幻滅を理解するための媒体としての短編小説、また文学的実験の特権的な道具としての短編小説に関するクラス・ディスカッションを行う。

第6週：ポストモダンと現代の短編小説

現代文学の中で極めて重要で、豊かな、そして柔軟な文学形式という短編小説の特徴、そして様々な民族的、言語的、文化的、社会的、宗教的なコンテキスト（アメリカの異種混血性を反映する場）という短編小説の特性に関するクラス・ディスカッションを行う。

第7週：アメリカ短編小説のサイクル（ユニティのある作品群）

しばしばアメリカの短編小説作家たちが好み、探求した短編小説と長編小説の混成という特異な文学的形式に関するクラス・ディスカッションを行う。

第8-9週：ゴーストストーリー（第8週：第1クォーター終了）

短編小説の中で極めて人気の高いジャンル、すなわちゴーストストーリー、及び黄金時代である19世紀におけるゴーストストーリーの発展に関するクラス・ディスカッションを行う。

第10-11週：探偵小説

予測可能なプロットと革新的な解決との間の絶妙なバランスを利用する典型的な定型ジャンルとしての探偵小説に関するクラス・ディスカッションを行う。

第12-13週：SF短編小説

レイ・ブラッドベリが「未来の社会学的研究」と定義した当該文学ジャンルに関するクラス・ディスカッションを行う。

第14-15週：最終ペーパーのプレゼンテーション

第16週：まとめ（第2クォーター終了）

授業評価、教員評価

事前・事後学習

- ・ 予習：参考図書の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。